

## 工藤篤子メールマガジン15号

2002. 08. 30

●ヨーロッパ日本人キリスト者の集い

●東欧大洪水



こんにちは。工藤篤子です。

前回二回のメルマガは、コンピューターの不調で、写真がお送りできなかつたり、行が乱れたり、ほんとうに申しありませんでした。(web 担当者注：訂正済みです) あの後、しばらくメルマガが

お送り出来ない状態が続きましたが、やっとまた皆様にお届けできるようになりました。私は、10日ほど前に食当たりでしばらく体調を崩しましたが、そろそろ元気回復してきたところです。

写真：「ウィーン日本人キリスト者の集い」河村昭夫師 (バイオリン) Ritsuko Riedel (ピアノ)

### ♪ヨーロッパ日本人キリスト者の集い♪

8月1日～4日、ウィーンで開催された19回目の日本人修養会は、294名の参加者と大変盛況でした。私も30分ほど賛美の時を持たせていただきました。今年のテーマは、「キリストの証人」。講師の先生たちが、このテーマを中心にメッセージしてくださいました。霊的な励ましをたくさん受けて、最後の日は、みな伝道に燃え立たされて、それぞれの国に帰ってゆきました。もしかすると、日本のリバイバルはヨーロッパの日本人から始まるかもしれません。(詳しいことは、ニュースレター秋号で報告させていただきます。)

### ～東欧大洪水～

8月、東ヨーロッパは集中豪雨で大洪水になりました。ロシアの黒海沿岸、チェコ、オーストリアなどで現在、死者数は100名と報道されています。ドイツでも、エルベ川沿いの南のバイエルン州や東のザクセン州の町々が、一週間の間に次々と「水砂漠」化してゆきました。ハンブルグはエルベ川の河口ですが、現在では、ハンブルグには被害が及ばないことが分かりました。

私はとっさに、これは神の警告だと思いました。神を忘れて、社会主義イデオロギーに生きたロシアと旧東ドイツ、神に従うクリスチャンの数は0, 3パーセントに満たない、真理の代わりに哲学と自由主義神学を生み出してきたドイツ。私は、これを機に、欧州の人々が神を認めますように、神に救いを求めますように、自分中心の生き方から神中心の生き方へと方向転換しますように、と祈っていました。ところが、祈りの姉妹から、「悔い改めの祈りを、今、神に切に捧げています。」というメールが届き、はっとさせられました。彼女の祈りはとりなしではなかったのです。

「わたしの名を呼び求めているわたしの民がみずからへりくだり、祈りをささげ、わたしの顔を慕い求め、その悪い道から立ち返るなら、わたしが親しく天から聞いて、彼らの罪を許し、彼らの地をいやそう。」(歴代誌117:14)

まず主の御名をもって呼ばれているわたしたちが、彼らの罪は私たちの罪です、と告白し、ひざまずいて祈るべきだったのだ、と気付かされたのです。第一ペテロ2：9にある、私たちが王の祭司として召されたわけは、人々の罪を負って、主に祈りのいけにえを捧げるためであったのです。イエス様の十字架の意味を今一度思いました。以来、この災害を欧州の不信仰のせいとある意味で客観視していた私は、自分の罪として祈る者に変えられてゆきました。

もう一つみなさんにお分かちしたいのは、このような災害の中にも、神の愛を感じたことです。まず時期が夏であったということです。水の中を動いても、凍え死ぬことはありません。また、テントで暮らさざるを得なくなった人々も、夏ですから、暖房の必要がありません。これが、東欧の冷たい冬に起こったとしたら、一体どうなっていたことでしょうか。また、ただちにたくさんの募金と救援活動が開始されました。ハンブルグのテレビ局では、2～3日で一億円の募金が集まったそうです。この災害に神の慈愛を垣間見ました。それは、人々を悔い改めに導くためであったのだと思うのです。そしてこの災害自体が、すでに神の慈愛ではなかったのでしょうか。

「それとも、神の慈愛があなたを悔い改めに導くことも知らないで、その豊かな慈愛と忍耐と寛容とを軽んじているのですか。」（ローマ2：4）

長くなってしまいましたが、たくさんのことを考えさせられた災害でした。皆さん、共に、欧州の救いのためにお祈り下さい！

### ♪お祈り下さい♪

\*「聖書の学び」のために。SさんとKさんの救いのため。Tさんは日本へ帰りました。彼女が日本の教会につながりますようお祈りください。

\*体調が守られるように。

\*9月22日、ハンブルグ日本人教会で賛美コンサートをします。よき伝道の間となりますように。

\*FGEC教会で奉仕しているバイブル・カウンセリングのために。共に重荷を負う者として、いつも主から愛と知恵が与えられますように。

日本は暑さの峠を過ぎた頃と聞きましたが、夏のお疲れがでませんように。  
主のご慈愛と恵みが皆様と共にありますように。

工藤篤子

### 【 事務局より 】

1. 工藤篤子音楽ミニストリーズの支援者となってくださる方を募集しています。詳しくは事務局までお問い合わせください。

事務局 〒541-0041 大阪府中央区北浜2丁目3番10号  
VIP 関西センター8F  
ミッション「宣教の声」方  
工藤篤子音楽ミニストリーズ事務局

TEL 06-6226-1334

FAX 06-6226-1336

## 2. 「中国・杭州の旅」

10月12日～15日、「ミッション・宣教の声」の企画する「中国、杭州の旅」に工藤篤子が賛美リーダーとして同行いたします。現地のキリスト教会を訪問し、日本・中国クリスチャンとの親善交流と観光を兼ねた3泊4日の旅です。皆さんも是非ご参加ください。

参加費用：7万6千円（三泊4日の宿泊・食事・保険・航空券・関空利用料・現地でのバス諸費用と入場料等）

お問い合わせ・申込先：「ミッション・宣教の声」事務局 Tel.06-6226-1334

（これはすでに定員になりましたので、締めきらせていただきました。ただしキャンセル待ちは受付中です。）